



ポータブルプレーヤードック

PDX-31 取扱説明書

本機でできること

● Made for iPhone/Made for iPod ●

iPhoneまたはiPodに入れた音楽データを“迫力の低音、低歪、低ノイズ”で再生。

● 簡単操作 ●

電源スイッチやソース切替スイッチの操作は不要。聴きたい音楽ソースを本機に挿すだけ。

● おまかせミックス ●

iPhoneまたはiPodと外部機器の2つを同時に再生。
片方の音楽をBGMにするなど、いろいろな楽しみかたができます。

● インテリジェントボリューム ●

・本機からiPhoneまたはiPodを抜いても、次に挿したときには自動的に前回の音量で再生。
・突然の大音量を防止してくれる自動音量調整機能搭載。

iPhone™、iPod™

iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touch は、米国およびその他の国々で登録されているApple Inc.の商標です。



「Made for iPod」、「Made for iPhone」とは、それぞれiPod またはiPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、これらの機器操作または、安全規制基準に関する一切の責任を負いません。

はじめに

■ 本紙について

- ・☀️ では知っておくと便利な補足情報を記載しています。
- ・📌 **ご注意** では本機を操作するときに留意すべき事項を記載しています。

■ 付属品

ご使用前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

名称に記載されている記号 (a b c) は、クイックマニュアルに記載されている記号を表しています。詳しくはクイックマニュアルをごらんください。

- リモコン [a] ×1
- ACアダプター [b] ×1
- 電源コード [c] ×1

📌 ご注意

本機にACアダプターと電源コードをつないでから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

- 取扱説明書(本紙) ×1
- クイックマニュアル ×1

リモコンの電池を交換する場合



お手入れのしかた

キャビネットを美しく保つため、柔らかい布で乾拭きするようにしてください。汚れがひどいときは、水を布に含ませ、よくしぼって拭き取ってください。

ブラウン管を使用したディスプレイの近くでご使用になり万色ムラや雑音などが生じるときは、本機とディスプレイの距離を離してご使用ください。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めてご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いこころを配り快適な生活環境を守りましょう。

安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、保証書と共に使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という禁止を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

⚠️ 警告 この表示の欄は、「死亡する可能性または重症を負う可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード

必ず実行 電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一方の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。

プラグを抜く 下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
● 異常なおいや音が出る。 ● 煙が出る。
● 内部に水や異物が混入した。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止 電源コードを傷つけない。
● 重いものを上に載せない。
● ステープルで止めない。 ● 加工をしない。
● 熱器具には近づけない。 ● 無理な力を加えない。
芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

必ず実行 電源電圧(100 V)で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

必ず実行 本機を完全に主電源から切り離すためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池

禁止 電池を充電しない。
電池の破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

禁止 電池からもれ出た液には直接触れない。
液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

設置

水ぬれ禁止 本機を下記の場所には設置しない。
● 浴室・台所・海岸・水辺
● 雨や雪、水がかかる場所
● 加湿器を過度にかけた部屋
水の混入により、火災や感電の原因になります。

禁止 放熱のため、本機を設置する際には：
● 布やテーブルクロスをかけない。
● 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

禁止 あおむけや横倒しには設置しない。
故障やけがの原因となります。

使用上の注意

接触禁止 雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。

必ず実行 本機を落としたり、本機が破損したりした場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止 本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
● 水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。
● 接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。

分解禁止 分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理および調整は販売店にご依頼ください。

手入れ

必ず実行 電源プラグ、または電池ケースのゴミやほこりは、定期的に取り除く。
ほこりがたまるとそのまま使用を続けると、プラグや金属部がショートして火災や感電の原因になります。

⚠️ 注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード

プラグを抜く 長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。

ぬれ手禁止 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。

禁止 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

必ず実行 電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。

禁止 電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。

必ず実行 付属のACアダプターを使用する。
それ以外のものを使用すると火災の原因となることがあります。

禁止 ACアダプターは、布や布団でおおったり、つつんだりしない。
熱がこもり、ケースが変型し、火災の原因となることがあります。

設置

禁止 不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

禁止 直射日光の当たる場所や温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばや車内など)には設置しない。
外装の変形や、内部回路への悪影響が生じて、火災の原因になります。

使用上の注意

禁止 音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

注意 環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときは、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

必ず実行 外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

プラグを抜く 移動するときは、本機の電源コードを外す。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

電池

必ず実行 電池は極性表示(プラス+とマイナス-)に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

禁止 指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

禁止 電池と金属片と一緒にポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

禁止 電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

必ず実行 使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

必ず実行 使い切った電池は、自治体の条例、または取り決めに従って廃棄する。

手入れ

必ず実行 手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。

禁止 薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



各部の名称とはたらき

名称に記載されている記号（**A** や **B** など）は、クイックマニュアルに記載されている記号を表しています。詳しくはクイックマニュアルをごらんください。

A iPod Dock

iPhoneまたはiPodを接続します。接続することで、本機がパワーオンの状態になり、接続した機器のバッテリーを充電します。接続した機器を再生すると、本機から音が出ます。本機はiPod DockからiPhoneまたはiPodを外したときの音量を記憶しています。次にiPod Dockに接続するときには、記憶した音量で音が出ます。いつでもiPhoneやiPodを接続したり、外したりすることができます。

ご注意

- お使いのiPhoneまたはiPodに対応しているDockアダプターを必ず取り付けてください。アダプターを装着しない、またはアダプターが適合していない場合、ぐらつきや接触不良によりコネクターが破損する恐れがあります。
- iPhoneまたはiPodに保護ケースなどをつけたまま接続すると、本機のコネクターにしっかり接続されない場合があります。

B AUX

外部機器を接続します。接続することで、本機がパワーオンの状態になります。接続した機器を再生すると、本機から音が出ます。



外部機器を接続するには3.5 mmステレオミニプラグケーブルが必要です。市販のケーブルをご使用ください。

ご注意

本機はAUXに3.5 mmステレオミニプラグケーブルを接続すると、パワーオンになります。本機から外部機器を外す場合は、AUXからケーブルを取り外してください。

C / (音量)

音量を調節します。



- 本機が記憶している音量が大きい場合、再生時に自動で音量を下げる場合があります。
- ACアダプターを外すと音量の記憶は消去され、次に接続するときには、あらかじめ設定されている音量で音が出ます。

D 15V (ACアダプター)

ACアダプターを差し込みます。

E LED表示

iPhoneまたはiPod、本機の状態を表します。AUXに接続した機器の状態は表示されません。

緑は正常時、赤は異常時や限界値を表すときに点灯、点滅します。

LED表示		状態
緑	赤	
		iPhoneまたはiPodの接続が完了しています。
1回だけ		iPhone、iPod、本機での音量調節、およびリモコンでのすべての操作を本機が受け付けると、その操作ごとに1回点滅します。
継続		本機がiPhoneまたはiPodを認証しています。
		iPhoneまたはiPodの再生を停止して30秒以上経過しました。
	1回だけ	iPod Dock接続時に、本機の音量が最大または最小です。
1回だけ	1回だけ	AUX接続時に、本機の音量が最大または最小です。
	2秒間	本機に対応していないiPodが接続されています。対処方法についてはトラブルシューティングをごらんください。
	継続	本機がiPhoneまたはiPodの認証に失敗しました。対処方法についてはトラブルシューティングをごらんください。
	継続	なんらかのエラーが検出され、保護回路が作動しています。対処方法についてはトラブルシューティングをごらんください。

…点灯 …点滅 …消灯

本機、接続機器、リモコンでできること

それぞれの機器でできる操作は、以下の通りです。(対応:○ 非対応:×)

操作機器	接続機器	iPhoneまたはiPod		外部機器	
		音量調節	音量調節以外	音量調節	音量調節以外
本機		○ ¹	×	○ ¹	×
iPhoneまたはiPod		○ ¹	○	○ ¹	×
外部機器		×	×	○ ²	○
リモコン ³		○ ¹	○	○ ¹	×

¹ iPod Dock、AUXに接続されている機器を同時に再生している場合、両方の音量が連動して上下します。

² iPod Dock、AUXに接続されている機器を同時に再生している場合に、外部機器の音量だけを調整したいときは、外部機器側で行ってください。

³ リモコンの操作方法についてはクイックマニュアルをごらんください。

主な仕様

対応iPhone iPhone、iPhone 3G、iPhone 3GS
対応iPod iPod (第5世代以降)、iPod classic、iPod nano、iPod touch
AUX入力端子 ステレオL/R: 3.5 mmステレオミニジャック
最大出力(6 Ω、1 kHz、10 % THD) 15 W + 15 W
電源電圧/周波数 AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 10 W
未接続時の消費電力 0.5 W 以下
ACアダプター NU40-8150266-I3 (DC 15 V、2.66 A)
外形寸法(幅 × 奥行き × 高さ) 350 × 125 × 109 mm
質量(本体のみ) 1.7 kg

※本機は第4世代以前のiPod、iPod shuffle、iPod photo、iPod miniのDock接続には対応していません。外部機器としてAUXに接続してください。

※仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

トラブルシューティング

使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、まず下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に作動しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから、お買上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでお問い合わせください。

症状	原因	対処
音が出ない。	iPhoneまたはiPodがiPod Dockにしっかり接続されていない。	しっかり接続しなおしてください。
	外部機器がしっかり接続されていない。	本機とケーブルとをしっかりと接続しなおしてください。ケーブルと外部機器本体とをしっかりと接続しなおしてください。
	本機の電源が入っていない。	ACアダプターを正しく接続しなおしてください。
	音量が最小になっている。	音量を調節してください。
音量が大きすぎて保護回路が働いた。	音量を下げてください。	
iPod Dockに接続したiPhoneまたはiPodの音量を調節しても、音量が変わらない。	本機に対応していないiPodが接続されている。または、iPod Dockにしっかり接続されていない。	本機に対応しているiPodを接続してください。または、しっかりと接続しなおしてください。
リモコンでiPhoneまたはiPodを操作できない。		
リモコンで外部機器を操作できない。	音量調節以外の操作をしようとしている。	音量調節以外は、外部機器本体で操作してください。
リモコンで全く操作できない。	リモコンの操作範囲外から操作しようとしている。	リモコンの操作範囲内で操作してください。詳しくはクイックマニュアルをごらんください。
	電池が切れている。または電池が外れている。	電池を交換してください。または電池を入れなおしてください。電池の交換方法は本紙の表面をごらんください。
	絶縁シートを引き抜いていない。	絶縁シートを引き抜いてください。絶縁シートの引き抜きかたは、クイックマニュアルをごらんください。
緑のLEDが点灯し、赤のLEDが点滅する。	iPhoneまたはiPodが認証されていない。	<ul style="list-style-type: none">本機に対応しているiPodを接続してください。 しっかりと接続しなおしてください。 iPhoneまたはiPodを再起動してください。 iPhoneまたはiPodのファームウェアを最新バージョンにアップグレードしてください。
緑のLEDが消灯し、赤のLEDが点滅し続ける。	なんらかのエラーが検出され、保護回路が作動している。	ACアダプターのプラグを抜き、しばらくしてから再度差し込んでください。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ヤマハお客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付：月～金曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～17:00 (日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

■ヤマハオーディオ&ビジュアルサポートページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にご覧ください。

http://www.yamaha.co.jp/product/av/support/

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-4830
FAX (053) 463-1127

受付：月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00 (日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 9:00～17:45 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内
FAX (011)512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03)5762-2125

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052)652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28 オーク江坂ビルディング2F
FAX (06)6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092)472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証期間

お買上げ日から1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示しております。

●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間によって大きく異なります。本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

<p>摩耗部品の一例 ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など</p>
--

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！	
	<p>こんな症状はありませんか？</p> <ul style="list-style-type: none">●電源コード・プラグが異常に熱い。 ●コゲくさい臭いがする。 ●電源コードに深いキズが変形がある。 ●製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ●電源を入れても正常に作動しない。 ●その他の異常・故障がある。
すぐに使用を中止してください。	
<p>事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。 なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。</p>	

ヤマハ株式会社
〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

YAMAHA PDX-31



